

| | | | | | |
|-------|-------------|---------|---------|------|-----|
| 科目名 | コマース研究ゼミナール | 科目コード | 1212 | 単位数 | 2 |
| 担当者名 | 坂口 可奈 | 開講セメスター | 第7セメスター | 開講年次 | 4年次 |
| 授業の方法 | 演習 | 実務経験 | 無 | | |

● 授業のねらい

YouTubeやtwitterを見て知識を得た気になっている学生も多いのではないかと。しかし、大学生であるからには、本と格闘しながら知識を身につけ、自分の頭で考えるということをしてほしい。そして、学友と議論するという経験をしてほしい。本ゼミナールでは、政治や国際関係に関する文献の輪読とディスカッション及びレポート作成を通して文章読解力と文章作成力および批判力を伸ばしていく。

● 到達目標

- ・議論の作法を身につける
- ・文章作成の基礎を身につける
- ・自分の意見を論理的に主張できるようになる

● 授業内容

- 1週目 インTRODクダクシヨン
- 2週目 文章作成の基礎
- 3週目 文章作成実践
- 4週目 文献1 輪読 第一章、第二章
- 5週目 文献1 輪読 第三章、第四章
- 6週目 文献1 輪読 第五章、第六章
- 7週目 文献1 のレポート発表会
- 8週目 文献2 輪読 第一章、第二章
- 9週目 文献2 輪読 第三章、第四章
- 10週目 文献2 輪読 第五章、第六章
- 11週目 文献2 のレポート発表会
- 12週目 文献3 輪読 第一章、第二章
- 13週目 文献3 輪読 第三章、第四章
- 14週目 文献3 輪読 第五章、第六章
- 15週目 文献3 のレポート発表会
- 16週目 今後の学習にむけて（ただしやむを得ず15週の授業を行えない場合は補講を行う）

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 予習：指定された文献をよみレジユメにまとめること（2.5時間程度）
- 復習：発表において指摘された点を各自改善すること（0.5時間程度）

● 成績評価の方法・基準

- 議論への参加度と報告50%
- レポート50%

● 履修上の留意点

1. 12週以上出席していること、全てのレポートを提出していること、割り当てられた報告を全て終えていることの3点を満たした者のみ評価対象とする
2. やむをえず欠席する場合は、かならず事前に連絡すること

● 課題に対するフィードバックの方法

- 各自の報告後に適宜フィードバックを行う
- レポートは授業中に返却する

● テキスト

- 一週目のゼミで決定する

● 参考書

- 伊丹敬之（2007）『創造的論文の書き方』（有斐閣）1700円

● 更新日付

- 2022/01/28 11:54